

〔三信心を明らかにする〕 ナーランダー僧院の 17 人の成就者たちへの祈願文

1

有情利益のために大悲によって生まれ

断（全ての汚れを滅し）・証（全ての功德を得て）・最勝なる救済を見出された天の中の天  
縁起の見解によって有情を導かれる

太陽の如き説法者、〔釈迦〕牟尼自在に礼拝いたします

2

勝利者（仏陀）の母の密意である、二辺（二つの極端論）を離れた真如のありようを  
深遠なる縁起の論理によって明らかにされた賢者

勝利者（仏陀）の授記（予言）通りに最勝なる中観の乗物の伝統を開かれた  
ナーガールジュナ（龍樹）の足元に祈願いたします

3

その直弟子であり、賢者で成就者であり

内外の学説の海を超えて彼岸に至られ

ナーガールジュナの教えを維持するすべての人々の頭頂の莊嚴である

勝利者（仏陀）の息子、アーリヤデーヴァ（聖提婆）に祈願いたします

4

聖者の密意である究極の縁起の意味は仮設されたものであり

単なる名前を与えられただけの存在であるという甚深なる要点を明確にされ  
優れた成就者の地に至られた

ブッダパーリタ（仏護）の足元に祈願いたします

5

真実なる事物が生起するなどという<sup>へんじゅけん</sup>辺執見（断滅か常住の極端論）を否定し  
量（正しい根拠）による共通の顕現と外部対象を承認する

宗義（学説）を完全に開かれたパンディッタ

阿闍梨バーヴァヴィヴェーカ（清弁）に祈願いたします

6

縁起の条件というこれのみにより

二つの極端論（二辺）を離れた顕現と空という中観のありようを

甚深廣大〔なる道〕の教化に長け、顕密のすべての道を広く説き示された

チャンドラキールティ（月称）に祈願いたします

7

稀有にして卓越した大悲の道と

甚深と広大の正しい道理と様々な表現により

恵まれた弟子たちの集まりに巧みに教示される方

勝利者（仏陀）の弟子シャーンティデーヴァ（寂天）に祈願いたします

8

弟子たちの資質に従って〔有と無の〕二つの空（二空）の中道を開かれ

因明（論理学）と中観のありようを説くことに秀で

雪山の国チベットに勝利者の教えを広められた  
大いなる学者シャーンタラクシタ（寂護）に祈願いたします

9

〔二つの〕極端論（二辺）を離れた中観の見解と止観双入の  
修習次第を経典とタントラの通りに正しく解釈され  
雪国チベットで勝利者（仏陀）の教えを誤りなく明らかにされた方  
カマラシーラ（蓮華戒）の御足に祈願いたします

10

弥勒に従って大乘すべての蔵を  
正しく広め、賢者の広大なる道を説き示され  
勝利者（仏陀）の授記通りに唯識説を開かれた  
アサンガ（無著）の御足に祈願いたします

11

阿毘達磨七論書と〔有と無の〕二つの空（二空）の伝統を継承し  
毘婆沙師、経量部、唯識派の学説を明らかにされ  
第二の一切智者として広く知られる最も優れた賢者  
阿闍梨ヴァスバンドゥ（世親）の御足に祈願いたします

12

牟尼の聖典を事実に基づく論理によって説き示され  
量（正しい根拠）による百の門を正しく開かれて  
〔世間の人々に〕慧眼を与えられた論理学者  
ディグナーガ（陣那）の御足に祈願いたします

13

内外の論理学の要点をすべて正しく考えられ  
経量部と唯識派の甚深と広大なすべての道を論理の道から  
確定された稀有なる法のありようを説かれた  
賢者ダルマキールティ（法称）の御足に祈願いたします

14

アサンガ兄弟から伝わった般若波羅蜜の意味を  
有と無の二辺を離れた中観の伝統に従って  
〔現観〕莊嚴〔論〕の文意を明らかにする灯明を灯された  
アーリヤ・ヴィムクティセーナ（聖解脱軍）の御足に祈願いたします

15

仏母〔般若経〕の意味を分別するという勝利者（仏陀）の授記を得て  
不敗の守護者による教戒通りに  
三つの般若波羅蜜の最勝なる典籍を明らかにされた  
阿闍梨ハリバドラ（獅子賢）の御足に祈願いたします

16

十万部の律の密意を正しく要約し  
説一切有部の教義通りに別解脱経を  
誤りなく正しく説き示され最勝なる拠り処となられた  
グナプラバ（功德光）の御足に祈願いたします

17

三学という功德の宝庫を支配され  
律の無垢なる教えを末長く広隆させるため

広大な聖典の意味を正しく解説された律の維持者である  
シャーキャプラバ（釈迦光）の御足に祈願いたします

18

牟尼の甚深・広大なお言葉を余すところなく  
三士（下士・中士・上士）の人々の修行道として説き示され  
雪国チベットに牟尼の教えを広められた恩師である  
ジョウオ・アティーシャに祈願いたします

19

このような世界の莊嚴となられた賢者たち  
稀有な善説の源である最も優れた方々に  
不退転の信心によって祈願することにより  
我が心を異熟させ、解脱させるよう加持を与えてください

20

基体のありようとなる二諦（二つの真理）の意味を知ることにより  
四聖諦（四つの聖なる真理）により輪廻の順観と逆観をあるがままに確証し  
量（正しい根拠）によって導き出された三宝への信心を堅固にし  
解脱道の核心が定まるよう加持を与えてください

21

すべての苦しみを寂靜させる解脱を求め  
出離の心と一切有情を救済したいと望むことにより  
すべての方位に遍充する慈悲心を根本として  
〔人為的に作り出したのではない本物の〕菩提心を得られるよう加持を与えてください

22

偉大なる先駆者たちの教義の意味を  
聴聞し、思慮し、修習することにより  
波羅蜜多と金剛乗の甚深なるすべての道において  
容易に確信を得られるよう加持を与えてください

23

幾度も生を受けたとしても、三学を護持する人の体という拠り処を得て  
善説と成就による経典の教え（阿含）と体験に基づく教え（証得）を教示して  
それを維持し広めるために  
偉大な先駆者たちと同等の行いをする事ができますように

24

すべての人々が常に聞・思・修の実践を成就して  
時を過ごし、誤った生活習慣をすべて断ち  
優れた賢者や成就者が増えることにより  
この大いなる世界が〔彼らによって〕常に莊嚴されますように

25

その力により顕密の完全なる〔十〕地と〔五〕道を歩み  
〔自利と利他という〕二つの目的を自然に成就して  
勝利者の一切智の境地を速やかに得て  
虚空が存在する限り有情救済をなす事ができますように

## 【あとがき】

とされているように、仏陀釈迦牟尼は甚深な教えと広大な教えを説かれたが、その後聖地インドの偉大な学者たちはそれらの教えがどのようなものかを明らかにされ、知性ある人々の智慧の眼を開く優れた善説を数多く記された。それらの著作は年月を重ね、人の歳で言えば二千五百年余りの時を経て今日に至るまで、聞・思・修の実践をすべき優れた典籍として廃れることなく伝承されている。これらの賢者たちへの深い恩を想起するとともに、変わらぬ信心によって偉大な導師たちの後に続いて学ばれることを祈っている。

近代の世界における科学技術や工業製品の発展には目覚ましいものがあるが、一方では、今世のあらゆる思惑に心が大きくかき乱されていることも確かなことである。このような時代には仏陀の教えに従う者たちが、仏陀の教えとはどういうものなのかを理解した上で信心すべきことを知るべきであり、これは大変重要な点である。正直で開かれた心を持ち、懐疑心を持って詳しく調べ分析することにより、その理由を探究し、根拠を確かめた上で、智慧に支えられた信心を生じるためには、広く知られている「世界の六人の莊嚴と至高なる二人と呼ばれる方々や、ブッダパーリタ（仏護）、アーリヤ・ヴィムクティセーナ（解脱軍）などの手による特に優れた甚深・広大な卓越した著作はなくてはならないものと見て、「世界の六人の莊嚴と至高の二人」には以前からの伝統的な仏画の描き方の伝統があったため、甚深・広大の流れを汲む九人の偉大な導師たちを新たに加えて、「ナーランダー僧院の十七人の偉大な成就者たち」の仏画を新たに作成したいと考えたのである。

その際、最も優れたこれらの賢者たちに対する心の底からの尊敬を表明するためにこのような祈願文を記したいという熱望が生じ、また、何人かの熱意ある法友たちからもそのような祈願文を書いて欲しいという依頼があったので、それを受けることになったのである。

そこで「映えあるナーランダー僧院の十七人の成就者たちへの三種の信心による祈願文」と題して、十七人の賢者たちの善説に対する真実の信心を得て、これらの賢者たちの手による善説を学ぶ者の列の終わりに並ぶ者として、釈迦族の比丘テンジン・ギャツォが、上座部の伝統的な暦法による仏陀釈迦牟尼の涅槃後 2545 年、第十七ラプチュン鉄と蛇の年の十一月一日、西暦 2001 年 12 月 15 日、インド、ヒマチャール・プラデーシュ州カングラ地区のダラムサラにあるテクチェン・チューリン（大乘仏教寺院）にてこれを記した。

善あれ！

【日本語訳：マリア・リンチェン 2021 年 2 月改訂版】